

トラック用品・自動車部品や関連機器で 「働く車」の安全・安心をサポート



株式会社 パーマンコーポレーション

ギアレンチから始まり、物流業界に役立つ商品の開発と販売を行ってきた(株)パーマンコーポレーションは、2025年に創業60周年を迎えました。今回は代表取締役社長の中部祥元氏に、これまでの会社発展の経緯と競合他社が多くいる中での販売戦略をお伺いしました。

トラック用品の独自開発で創業

1965年4月に当社を創業した吉原雅郎氏は1970年、海外メーカーの視察や展示会に積極的に足を運びながら、日本の現場のニーズに応える「ギアレンチ」を独自開発しました。当時トラックは舗装の悪い道路をチューブタイヤで走っていたので、頻繁にパンクしていました。今であればJAFやレッカーを呼んでいますが、その頃はドライバーが自分で修理するのが当たり前でした。ホイールを外すためには体重60kgの人が1mのレンチで力を入れてやっと緩むかどうかで、長い棒をかませて力を入れるために車輛から離れることで後続車に轢かれるような事故も発生していました。

ギアレンチによる高トルクによりコンパクトなボディを実現したことで、短くてもたいした力を入れずにナットを外すことのできる画期的な倍力レンチとして市場に高く評価され、トラック用品販売事業における当社の発展の大きな原動力になりました。

海外の展示会でギアレンチを出した際、お客様がその性能を「Power Man」と称賛したことから「Pa-man」というブランド名が誕生し、その後創業40周年のタイミングで社名を現在の(株)パーマンコーポレーションに変更しました。

業界初のダイレクト販売とECサイト

当初はトラックディーラーに向けて販売していましたが、1985年に当時アメリカで始まったダイレクト販売を取り入れ、ユーザーへの直接DM販

売を開始しました。これは業界初の試みで、社外のみならず社内にとってもすごいインパクトでした。従来の顧客であるディーラーから毎日クレームの電話がかかってくると、当時からの社員は今でも言うほどです。しかし、ディーラーを通さずに売ることによって中間コストが削減され、お客様に直接良い品を安く提供することができます。

2017年にはECサイト(パーマンショップ)を開始し、現在はカタログ販売以上に力を入れています。「働く車」をキーワードに、整備用の工具のみならず運送業者さんが必要なものは、ラッシングベルトを始めとした固縛・荷崩れ防止用品からランプ類・ミラー類などなど、なんでも扱っており、かつ即納できるのが強みです。1989年に新設した広島倉庫は、16時15分までのご注文で当日出荷が可能で、関東圏までであれば翌日には配達します。品質についてもラッシングベルトでは早い時期にJISマーク認証を取得し、4年連続で売上高No.1を記録しています。



荷物をトラックの荷室やパレットに固定するためのラッシングベルト。安全かつ確実に荷物を固定して輸送品質の確保に貢献します。

また、インターネット上には数多の業者がいるので、ライバルとの差別化を図るために顔の見える通販を目指しています。商品の3年保証、自社倉庫から即納できる体制のみならず、実店舗として2018年に東京店、2019年に広島店、2024年には大阪店を開業しました。



パーマンショップ大阪店(東大阪市)



代表取締役社長 中部 祥元 氏

掲げているのは60周年限定カラーの記念タオル。社長室には社員の集合写真や、ロゴの入ったトラック型のティッシュボックスなどが飾られていました。

株式会社 パーマンコーポレーション

事業内容：トラック用品・自動車部品・工具・物流用品の企画開発・製作
輸出入販売及びカタログ通販

本社：大阪市西区川口 4-1-5

創業：1965 年 4 月 1 日

社員数：90 名

会社ホームページに
リンクします



本社

通販だけではあやしい業者かもしれませんが、店舗があると安心しませんか？ 私たちは逃げも隠れもしない、安心できるショップだと認識していただけるよう信頼を積み重ねています。

広告戦略と若手社員の活躍

当社では、X (旧 Twitter)、Facebook、LINE、YouTube、Instagram などの各種 SNS を活用し、新商品の魅力を積極的に発信しています。専門部署はなく、マーケティングや商品開発部門の若手社員を中心に、互いに意見を出し合いながら協力して進めています。

SNS を担当している社員は創立 60 周年事業でも活躍しました。若手社員が増えたことで、会社の起源や歴史を知らない社員が増えたという課題に対し、社史漫画を若手が中心となって作成しました。若手がベテラン社員に取材をすることで社内コミュニケーションのきっかけにもなり、一体感を育むという目的は見事に達成されました。



創業60周年を
記念して漫画で
社史を制作



総合カタログ

モノ売りからコト売りへ

最近力を入れているのはソフトサービスの充実です。中でも特に人気を集めているのが、次の二つのサービスです。

一つ目は、運送業者に特化したホームページ作成の請負です。現代では、ホームページは企業の信頼度や認知度を高めるための重要なビジネスツールとなっています。初期制作にとどまらず、毎月の更新・管理も月額契約で請け負っており、立ち上げた後も管理の行き届いた運営が可能です。実際に、ホームページ開設をきっかけに受注や求人応募が増加した事例もあるとのこと。

二つ目は、Alc Check (アルチェック) です。

2023 年 12 月施行のアルコールチェック義務化に対応したもので、従来紙で保存していた記録をクラウド上で一元管理できるシステムです。

ドライバーがアルコールチェックを行う際の写真とチェック結果画面をクラウドにアップロードするだけで、管理者は簡単に CSV データとしてダウンロードし 1 年間保管できます。当社のアルコールチェッカーを購入される場合は、半年間の無料体験が付帯しており、本登録の月額料金も他社と比べて抑えています。単なる収益事業ではなく、「お客様との繋がりを深めること」を目的とした宣伝的なサービスと位置づけているからです。

現在 (2025 年 10 月取材) は運行前にタイヤを写真で撮影することでナットの緩みを発見し、事故を防ぐためのアプリ開発を行っています。

道路交通法や労働安全衛生法などの法改正があるたびに、関連する商品の需要が一気に高まります。私たちはこうした動きに合わせて製品を改良し、時代や制度の変化に迅速に対応できるよう努めています。これからも、運送業者の皆さまの“かゆいところに手が届く”商品づくりを通じて、安心・安全をお届けして信頼を積み重ね、選ばれる企業を目指してまいります。

— 貴重なお話をいただき、ありがとうございました —